【団体名】安城市立中部小学校

【事業の名称】ごみ減量！レジ袋削減！エコ☆キッズの輪

【事業実施期間】平成３０年９月３日～平成３０年１１月３０日

【事業実施場所】安城市立中部小学校

【事業内容】

本校では月２回程度児童会環境委員会が「リサイクルデー」を行っている。平成２５年度に助成金を受けた際、ペットボトルや牛乳パック、アルミ缶などのリサイクル品を学校に持ってくるときに使ってほしいと布製のオリジナルエコバッグを作成した。しかし、次第にリサイクル品をレジ袋に入れてきて、レジ袋を「ごみ」にしていく児童も増えてきた。そのため、再度全校児童分のオリジナルエコバッグを作成し、リサイクルデーへの協力だけでなく、ごみ削減やレジ袋削減も呼びかけて、児童の環境への意識を高めたいと本事業を行った。

　９月に全校児童集会で環境委員会の児童から、助成金を受けて布製エコバッグを作成したことを伝え、今後のリサイクルデーや買い物時に使うことがごみの減量やレジ袋削減に協力し、環境問題を考えることにつながることを訴えた。その後、全校児童でクラスごとにエコバッグに思い思いの絵を描いた。現在も環境委員会がリサイクルデーの前日には校内放送で「エコバッグを使いましょう」と呼びかけている。

　なお、学校だよりや学校ホームページにもエコバッグを作成したことやリサイクルデーの活動の様子、買い物にも活用してほしいことを掲載している。さらに「愛知のＰＴＡ」（第513号）（愛知県小中学校ＰＴＡ連絡協議会発行）西三河版にも「中部小エコ☆キッズ」の取り組みとして紹介してる。

【成果・課題】

　児童はこれまで以上にリサイクルデーに協力している。また、オリジナルエコバッグをリサイクルデーだけでなく、これまでならレジ袋や紙袋に入れて持ってきたと思われるもの（生活科や図画工作などの授業で使う材料、課外活動で使用する道具など）も入れてくるなど、学校生活のいろいろな場面で使っている。１１月末実施の児童へのアンケートでも「大きさが使いやすい」「肩にもかけられる」「いつもランドセルに入れているから荷物が増えても大丈夫」「買い物にも持っていく」「リサイクルデー以外はお母さんも使っている」といった記述が多く、大切に活用していることがわかった。今後の活動の継続を考え、助成金で来年度の新入生分も作成してある。入学時にオリジナルエコバッグを渡し、リサイクルデーの活動などを通して、中部小エコ☆キッズとしてエコ意識を持ち続けられるようにしていきたい。